

研究課題名：	SARS-CoV-2 抗原検査と Ct 値の関係に関する後ろ向き観察研究 —抗原陰性となる Ct 値の閾値の検討—
所属（診療科等）：	公立昭和病院（感染管理部）
研究責任者（職名）：	一ノ瀬 直樹（院内感染管理者）
研究代表者（所属）	
試料・情報の提供責任者：	公立昭和病院 院長 坂本 哲也
試料・情報の管理責任者：	
研究期間：	2026 年 5 月 15 日～2027 年 3 月 31 日
研究目的と意義：	<p>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）において、迅速抗原検査は簡便かつ迅速に結果が得られることから、臨床現場や感染対策に広く用いられている。一方で、核酸増幅検査（NAAT）は高感度である反面、感染性を持たないウイルス RNA 断片も検出する可能性があり、感染性の評価には限界がある。近年、PCR 検査における Ct 値がウイルス量の指標として注目されており、抗原検査結果との関連を明らかにすることは、感染性評価や隔離解除判断において重要である。しかし、抗原陰性となる Ct 値の閾値については、特にオミクロン株流行期において十分に検討されていない。</p> <p>本研究の目的は、抗原検査結果と PCR 検査における Ct 値との関係を明らかにし、抗原陰性となる Ct 値の閾値を同定することで、感染性評価および臨床・感染対策上の意思決定に資する知見を得ることである。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2022 年 10 月 1 日から 2023 年 11 月 30 日までの期間に、公立昭和病院において新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が疑われ、抗原検査および核酸増幅検査（NAAT）が同日に実施された患者さん ●利用し、又は提供する試料・情報の項目 年齢、性別、発症日、抗原検査結果、核酸増幅検査（NAAT）における Ct 値（N2 遺伝子） ●提供する試料・情報の取得方法 電子カルテシステム ●試料・情報の利用目的及び利用方法（他機関へ提供する場合は、その方法を含む） 電子カルテ情報を用いて、後方視的に収集・調査する。 ●利用する者の範囲（当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者の氏名） 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】（研究全般に関すること） 氏名：一ノ瀬 直樹（感染管理部） 住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号 電話：042（461）0052（代表） FAX：042（464）7912</p> <p>【ご意見・相談窓口】（研究・診療内容に関するものは除く） 総務課 042（461）0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>